

令和3年度 第1回三大水門景観検討部会 議事概要(案)

日時：令和3年6月21日(月) 15:00～17:25

場所：大阪府西大阪治水事務所 1階A・B会議室

出席者：(委員)久保田委員・山上委員・重山委員・杉村委員・武田委員 計5名

まとめ

(1) 安治川水門の景観検討の進め方について

- ・ 安治川水門の景観検討の進め方については、今後設計競技方式のアイデア公募型を進めていく。

(2) アイデアの募集方法について

- ・ 水門が担う役割(津波・高潮対策)や災害時における水門の対応等、条件が参加者に対して明確となるようにする。
- ・ 評価方法は、提示したほうが応募者も応募しやすいため、着眼点の項目毎の重みなどは明示しておいたほうがいい
- ・ アイデア募集にあたり、今回はアイデアを広くとるという意味で水門形式は限定しない。
- ・ 応募にあたって、賞金の設定は必須と考えられる。
⇒ 本日いただいたご意見を踏まえて、新安治川水門のアイデアコンペを開催できるよう事務局で作業を進める。

(3) 木津川水門の景観設計について

- ・ ガーダー構造に異論はないが、上流側が平らになっている理由を教えてください。
⇒ 扉体の向き(ガーダー構造がむき出しになる向き)に関して、資料を整理したうえで各委員に個別に説明させていただく。
- ・ 現水門の継承のため、管理橋の塗装をするのは良い解決方法だが、LCC的な問題と景観的な問題の両方を考える必要がある。
- ・ パース図では折り返し階段や点検歩廊などが設計図と異なっているように思われる。
⇒ 木津川水門の景観については、設計図とパース図の不整合や、資料不足があったため、資料を整理し、各委員個別にご説明するようにさせていただく。

主な確認事項、委員意見等

(1) 安治川水門の景観検討の進め方について

- ・ 安治川水門は、景観方針の中でまちづくり計画を考慮するということが付加されているのが一つの特徴。コンペ開催にあたり、現在進んでいるまちづくりの計画については、計画の内容や検討状況など詳しい情報があればあるほどよりよい設計につながる。
⇒ 近隣区のまちづくり計画に関する情報も示したうえで、募集を実施する。
- ・ 安治川水門の景観検討の進め方については、今後設計競技方式のアイデア公募型で進めていく。

(2) アイデアの募集方法について

(アイデアコンペ)

- ・ アイデアの自由度を求めるために、制約を緩和していることは理解したが、水門というのは防災機能をきちんと果たすことが前提で、その先に景観の話とか、地域の溶け込みの話とかがある。前提論として、これは水門として津波を堰き止めるものであると理解した上で、アイデアが出てくるようにしてほしい。これまでの河川構造物等審議会の資料は防災面での情報も載っておりわかりやすい。
⇒ 募集を行う際には、これまでの検討流れなどもわかるように、河川構造物等審議会のホームページをリンクで繋げるなど対応を行う。
- ・ このデザインコンペに入賞したという事実が業績になるようなものがあれば、応募する方のモチベーションも上がるのではないか。
⇒ アイデアコンペ参加者には土木学会のCPDの認定が受けられるよう手続きを進める。
- ・ 「地域のにぎわいの起爆剤として盛り上げたい」という言葉について、起爆剤という言葉は避けられたほうが適切ではないか、起爆剤というよりは、地域に対する一つの新しい地域のにぎわいの拠点とかのほうが、趣旨としても適切ではないか。
- ・ コンペの対象について、コンペ対象は、安治川水門及び安治川水門を中心とした河川軸及び、周辺地域ということのほうが、意味としては適切ではないか。
- ・ 評価方法は、五つの着眼点それぞれに点数をつけるような感じで、総合評価的な点数をつけて1等賞を決めるというものなのか。もしくは何か一個でも、一点突破的に最優秀賞にするというような審査をするのかというのは、事前に決め、提示したほうが応募者も応募しやすいため、着眼点の項目毎の重みぐらひは、明示しておいたほうがいい。
- ・ 重みは点数にしてもよいし、重み大、中など、足し算できないような重みづけにしておく、同点になる悩みがなくなる。
- ・ プレゼンテーションについて、動画提出を可とするなら、動画サイズの上限を示す。あるいは、「動画提出を希望する場合は、データサイズについて、あらかじめ事務局に御相談ください」など、文言を追加したほうがよい。
- ・ アイデアを募集する水門形式をローラーゲート式に限定するか否かは非常に難しい問題だが、今回はアイデアを広くとるという意味でもあまり縛らなくて良い。

- ・ ただし、実際の構造物は実際の構造物としてあるため、コンペは、あくまで「アイデアコンペを行う」ということを応募する方にも伝え、実際の設計は、これまで検討してきた方向で進んでいくということは、誤解のないよう伝えておいたほうがよい。
- ・ 最優秀賞、優秀賞、奨励賞について明記されているが、賞金額を明記した方がよい。賞金額が目標になり、額が主催者の意気込みと見られる。
 - ⇒ 本日いただいたご意見を踏まえて、新安治川水門のアイデアコンペを開催できるよう事務局で作業を進める。

(絵画コンクール)

- ・ 小学生対象の絵画コンクールについて、小学生に対して提示する条件は、防災教育的な側面もあっていいと思う。楽しい水門、かっこいい水門、面白い水門、に加えて防災的言葉も入れるとアイデア幅も広がるのではないか。
- ・ 100文字の説明文というのもいいが、併せて「タイトル」というのもあったほうがいいと思う。
 - ⇒ 本日いただいたご意見を踏まえて、新安治川水門の絵画コンクールを開催できるよう事務局で作業を進める。

(3) 木津川水門の景観設計について

- ・ 巻揚げ機室ボリューム低減のために歩廊を下げると、段差が発生し維持管理資材の運搬に支障が出ることから点検歩廊を下げないとのことだが、具体的にどのような問題があるのかよくわからないので、教えてもらいたい。
 - ⇒ 細部については詳細に検討したうえで、個別に重山委員に報告させていただく。
- ・ ガーダ構造に異論はないが、普通は平な面が下流側に来ると思うが、上流側が平らになっている理由を教えてもらいたい。
 - ⇒ 気候変動対応のための上段扉の後々設置することなどを検討した結果、このような向きになっているが、本日説明できる資料がないため、整理した上で各委員にご説明させていただく。
- ・ 現水門の継承のため、管理橋などを鉄で造って、時々塗り替えるのと、最初からステンレスでやるのとどちらのLCCが安いのか、真面目に計算して安いほうを取ったほうが良いと思う。鉄のほうが安いなら、塗装は必須、そこで色をつけるのは、いい解決法と思う。LCC的な問題と、景観的な問題を両方考えないといけないと思う。
- ・ アクセント的に、天井の端に色をつける、エレベータータワーで工夫などもあり得る。
- ・ 折り返し階段の図面と、最後の完成予想図にある階段の図面が全く違うものとなっているので修正願いたい。
- ・ 防舷材について、修正前後で、防舷材の上端部が変更となっている。修正前のほうがきれいに収まっていた印象。修正後において防舷材の上端が高くなったのはなぜか。
- ・ 点検歩廊が橋梁形式であれば、パース図のように華奢な構造等はないはず。
 - ⇒ 木津川水門の景観については、設計図とパース図の不整合や、資料不足もあったため、資料を整えて、各委員ご説明するようにさせていただく。

- ・ 災害時のイメージ図について、この図だと、いまにも水門が飲み込まれそうな感じで、一般の方が見たら、不安にならないか。平成30年9月4日の台風21号時に撮影された木津川水門をイメージして作成されたり、堤防自体を高くして、まだ安全な範囲とわかるようなイメージ図にした方が良いのではないか。